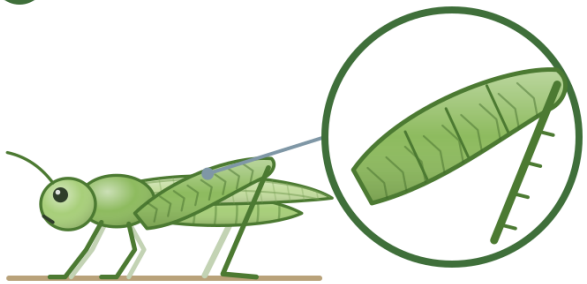
昆虫のあしや口の形とくらし

発展

バッタ・カマキリ・チョウのあしや口の形がちがうのはなぜだろう

1 バッタ



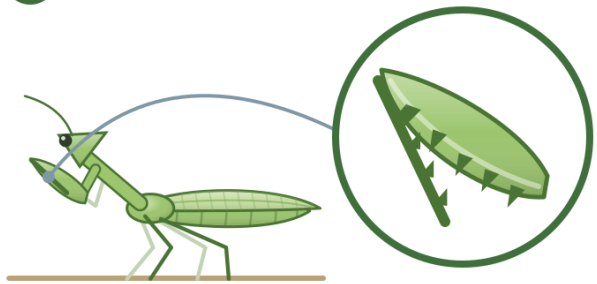
太くて長い後ろあし

↓ この形が役立つ

地面を強くけって、遠くまではねる



2 カマキリ

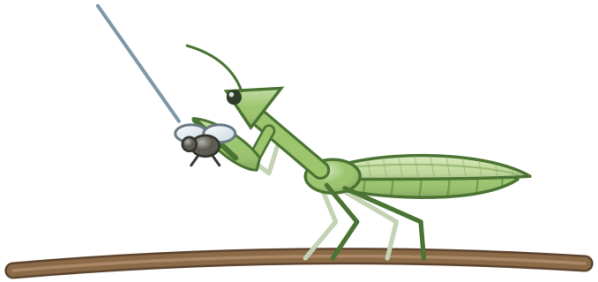


とげのある、かまの形の前あし

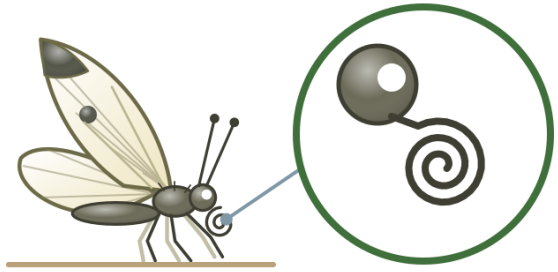
↓ この形が役立つ

とげのある前あしで、えものをつかまえる

えもの（小さな虫）



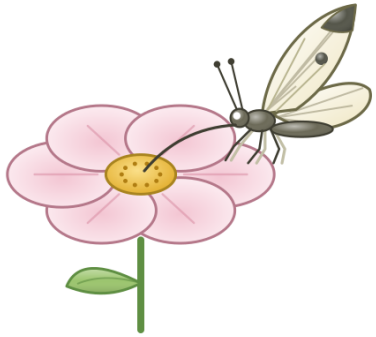
3 チョウ



ストローのような口（ふだんは巻いている）

↓ この形が役立つ

口をのばして、花のみつをすう



昆虫のあしや口の形は種類によってちがい、その形はくらしとつながっている。

ほかの昆虫でも、あしや口の形を見ると、くらし方が考えられるかな。

※ 模式図。大きさは同じ縮尺ではない。あしや口の働きはこの図の例で、ほかの働きもある。